

平成30年6月29日

第4回 国立高度専門医療研究センターの
今後の在り方検討会

資料3

これまでのご意見を踏まえたN Cの今後の役割について（たたき台）

これまでのご意見を踏まえたN Cの今後の役割について（たたき台）

- これまで医療政策上の課題の克服に取り組んできたことを踏まえ、N Cの普遍的な役割として、国民の健康に重大な影響のある特定の疾患等に係る医療に関し、研究開発、これに関連する医療の提供、人材育成等を実施するという基本的な考え方は今後も維持しつつ、各々の具体的な取組については、世界最高水準の医療を実現し、地球規模の課題や時代の変化に対応していくという視点で取り組んでいくべきではないか。
- 国立研究開発法人として研究開発成果の最大化を目指し、中長期的な視点に立って取り組むことが求められる医療分野の研究開発、医療提供、政策提言等に資するため、企業・大学・各専門領域の医療機関を含めたナショナルレジストリの構築や、クリニカル・イノベーション・ネットワークの活用・強化をより一層促進すべきではないか。
- 研究開発については、国としての研究・医療の基盤を構築するという観点から、
 - ・大学等の他の研究機関では十分な取組が確保できない分野、たとえば、
 - ✓中長期にわたって継続的に実施する必要のあるナショナルレジストリやコホート研究等の研究基盤の整備
 - ✓全国規模のナショナルレジストリの構築とN C間の共有
 - ✓難治性・希少性疾患の病因・病態の解明、予防・診断・治療方法の確立
 - ✓難治性・希少性疾患や市場規模の小さい疾患分野、開発リスクの高い新規市場分野を中心とした医薬品・医療機器の研究開発
 - ✓国の医療政策に対する提言や、診療ガイドラインの作成・改訂に資する研究開発
 - などの基盤的研究を中心的課題として取り組むべきではないか。
 - ・これらの取組を進めるため、データ共有のための情報連携・拠点化に向けた検討が必要ではないか。
 - ・これからの・各専門領域において他の研究機関も含めた研究開発が促進されるよう、産学連携ネットワークの強化が必要ではないか。
 - ・研究プロジェクトの企画・マネジメント、企業との連携調整、進捗管理、研究成果の活用促進等を一貫して担うリサーチ・アドミニストレーターの育成に向けた検討が必要ではないか。
- 医療提供については、
 - ・これまでと同様に、N C自ら高度専門医療を国民に提供することと、各専門領域の全国の診療水準を向上させるという二つの役割を担っていくべきではないか。
 - ・その場合に、高齢化に伴い合併症を持つ患者が増えてきていることなど時代の変化を踏まえた病院機能の在り方を考える必要があるのではないか。
 - ・各N Cのミッション・担当領域や疾患の特徴、医療の均てん化に係る状況の違いにより、一律に論じられないところがあるので、その点を踏まえた役割の整理が必要ではないか。
 - ・臨床研究の基盤としての医療提供という視点も必要ではないか。
- 人材育成については、これまでと同様に、各専門領域のリーダーとして活躍できる高度専門人材の育成とともに、各領域の医療従事者に対する研修の実施など全国的な水準の向上に取り組むべきではないか。
- 我が国の医療政策への提言や国の医療政策の評価・検証、国民への情報発信をこれまで以上に強化すべきではないか。